



看護手順更新の手間を大幅削減しつつ、最新情報をタイムリーに入手

杏林大学医学部附属病院

所在地：東京都三鷹市新川 6-20-2
 看護師配置基準（一般病棟）：7 対 1
 病床数：1,153 床
 看護師数：約 1,387 名

看護部 師長
 則竹 敬子 様

導入背景

- 看護手順の更新作業に膨大な時間がかかり効率が悪い
- 紙の看護手順マニュアルは信頼性も低く十分に活用されていなかった
- 新人看護師の教育、復職支援に課題があった

導入結果

- 最新の看護手順をタイムリーに入手
 手順更新の委員が 16 名から 3 名に
- エビデンスが明確な看護手順がオンラインや電子カルテ端末から確認でき、活用が約 300 倍に
- 院内、自宅等どこからでも看護手順を確認でき、安心して働ける環境を実現

導入背景 ▶▶ 活用できる看護手順マニュアルを目指して

看護手順マニュアルは、かつて 3 冊あり、年に 1 度その手順作成と更新を行ってきました。看護実践委員会には 16 名おり、院内の看護部全体のマニュアル 51 冊を数カ月かけて確認し、修正・出力して、30 以上の部署のマニュアルの差し替えを行っており、膨大な時間と手間がかかっていました。

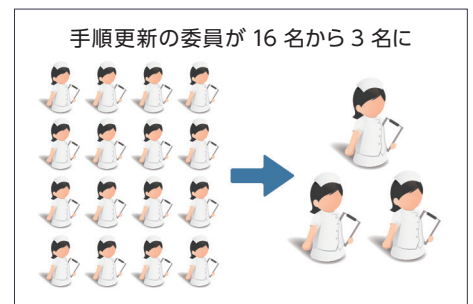
ところが、紙のマニュアルというものは年に数回しか開かなかつたり、記載されている情報も更新が間に合わずに古い場合があり信頼性が低かったりと、十分に活用されていませんでした。そのため、部署ごとに技術のばらつきもありました。

活用方法① ▶▶ 看護手順更新の膨大な手間を削減

更新作業の手間を削減するため、2011 年にナーシング・スキルを導入しました。
 導入当初は、まず、院内の 4 つの委員会でナーシング・スキルの位置づけを検討しました。「看護基準という揺るぎない基準を標準看護計画に落とし込み、さらにそれを実践する看護手順としてナーシング・スキルを活用する」と決定し、文章や表にしました。
 2012 年に運用を開始し、当時は 33 手技のカスタマイズを行いました。現在は 11 手技のみにカスタマイズを減らし、他はナーシング・スキルのオリジナルの手技を使用しています。

また導入前は看護実践委員会 16 名が、週 2 回の委員会の時間だけでなく個人の時間でも使用しており、更新に何百時間もおかかっていましたが、**今では 16 名が 3 名となり、委員会の時間も月 2 回が月 1 回**、さらにその時間の一部しか使わずに看護手順の管理ができています。

【看護基準】	【標準看護計画】	【ナーシング・スキル】
看護実践委員会による標準看護計画の策定	看護実践委員会による標準看護計画の策定	標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定
標準看護計画を策定する委員会の策定	標準看護計画を策定する委員会の策定	標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定
標準のリスクがある患者の看護	標準のリスクがある患者の看護	標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定
看護委員会の策定	看護委員会の策定	標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定
	ニューロケアチーム標準看護計画の策定	標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定 ・標準看護計画に基づいた看護手順の策定



活用方法② ▶ ベッドサイドでも看護手順を確認でき、利用率も向上

2013年には電子カルテのホーム画面にナーシング・スキルのPDFを掲載し、院内のどこからでも確認できるよう利用環境の充実をはかりました。看護手順のほか、大切な補足事項や禁止事項、注意、リスクなども、ベッドサイド等いつでもどこでも見られるようにしています。

この電子カルテ端末のPDFとオンライン双方の利用により**院内の技術の標準化ができ、看護の質の向上を図ることができました。**

また、ナーシング・スキルは、**最新ガイドラインに基づいており、エビデンスも明確で、動画で具体的なイメージもできる**ため、「紙のマニュアルのときを3～4とすると、今は1,000」と活用が約300倍になったと感じています。特に動画のイメージは分かりやすく、「また分からないことがあったら、これで調べよう」という動機づけにつながっています。

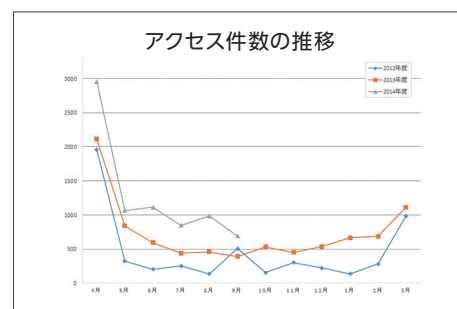
活用方法③ ▶ 休職中の看護師の復職支援や院内教育用のe-ラーニングに

当院では産前産後、病気での休業などが100人ほど多くおり、復帰するときには自分の慣れた部署に戻れるとは限らず、技術面での不安を抱えてしまいます。あるいは部署に戻れても休業前の技術のままでは不安ということもありました。

ナーシング・スキルを使用することにより、**自宅での看護手順の確認**ができるようになり、復職支援にも役立っています。

また昨年からラダー研修に使用するDVD研修をナーシング・スキルにアップして使用しています。以前は、借用書に記入して看護部にDVDを借りにくる必要がありましたが、数が限られており、借りたくても貸出中の場合は待たなくてはならないなど、不便も感じていました。

このことにより、4月～8月までの5か月間のアクセス件数が2013年の約4,500から2014年は7,500に増加しました。



まとめ

ナーシング・スキルを導入し、圧倒的に看護手順マニュアルの活用が進みました。技術が標準化されると安全にもつながります。臨床工学技士など、看護師以外の職種の方でケアに関わる方も活用しており、「とても分かりやすい」と重宝しています。

今後は電子カルテのPDF版ナーシング・スキルの活用を推進するとともに、活用実態の把握を行っていきたいと考えています。

※掲載内容は2014年11月時点の情報です。

ナーシング・スキル 概要

看護技術を映像で確認・習得できるオンラインサービスです。理解度を確認できるe-ラーニングの機能もついています。病院の看護手順や学校のカリキュラムに合わせて、内容を独自に編集して利用することができます。詳細は www.nursingskills.jp をご覧ください。



エルゼビア・ジャパン株式会社 ソリューション営業本部
〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル3階
TEL / 03-3589-6372 E-mail / support@nursingskills.jp